

# 「防災等に資するWi-Fi環境整備に関する説明会in石川」を開催 ～ 地方自治体におけるWi-Fi活用事例を紹介 ～

総務省北陸総合通信局（局長 山田 和晴）は、平成31年3月1日（金）、石川県金沢市内において、「防災等に資するWi-Fi環境整備に関する説明会in石川」を開催しました。

説明会には、地方公共団体、Wi-Fi整備に関連する企業などから約60人の参加がありました。



説明会の模様



総務省情報流通行政局  
地域通信振興課  
主査 奥石 美和

はじめに、総務省情報流通行政局 地域通信振興課 主査 奥石 美和から、「公衆無線LAN環境整備支援の推進について」と題し、総務省が策定した「防災等に資するWi-Fi整備計画」に基づき、平成31年度までに全国約3万箇所の整備を推進するための補助金として活用が可能な「公衆無線LAN環境整備支援事業」を紹介しました。

また、災害時におけるWi-Fiの有効性や、防災目的で整備するWi-Fi環境の通常時における教育や観光などへの活用法について説明しました。



岩手県二戸郡一戸町  
総務部まちづくり課  
主任 来田 忍 氏

次に、岩手県二戸郡一戸町 総務部まちづくり課 主任 来田 忍 氏から、「岩手県一戸町における公衆無線LAN環境整備と活用～平成28年台風10号を経て～」と題して講演があり、一戸町における災害時に向けた無線LAN環境整備と活用事例の紹介がありました。

一戸町では、東日本大震災等で顕在化した「情報の空白時間」が発生するといった問題の解決策として、住民への効率的な情報伝達や、住民及び職員の不安・不満・負担解消のための避難所での情報提供インフラ確保が重要と考え、平成25年度から補助事業による公衆無線LAN環境整備を行っていることについて説明がありました。また、災害時にWi-Fiを一般開放した際の様子についても紹介がありました。



来田 氏 講演の様子



無線LANビジネス推進連絡会  
会長 北條 博史 氏

最後に、無線LANビジネス推進連絡会 会長 北條 博史 氏から、「防災等に資する公衆無線LAN整備の動向～災害時に誰でも使える無料Wi-Fi『00000（ファイブゼロ）JAPAN』の運用事例～」と題して講演があり、災害時において被災地域のすべての人が、契約キャリアに依存せずに無料で公衆無線LANを使える環境を実現できる「00000（ファイブゼロ）JAPAN」についての説明がありました。

平成31年度が公衆無線LAN環境整備支援事業の最終年度であることから、北陸総合通信局では、引き続きWi-Fi環境整備の支援に努めてまいります。



北條 氏 講演の様子